

ずしし かんきょうかいぎ ニュース

第15号 2006年10月

事務局 返子市環境部環境管理課
返子市返子5-2-16

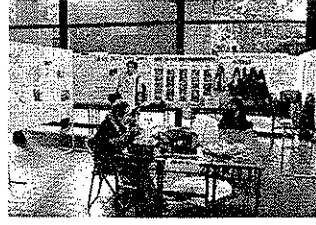
発行 ずしし環境会議 (エコリーダーズ会議)

TEL 046-873-1111 内線 254

環境展



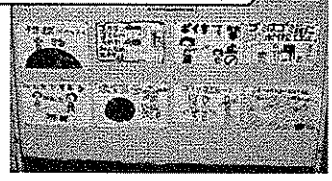
ずしし環境会議展



環境&ごみフェスティバル



学校環境パネル展



6月の環境月間では、様々な催し物を行いました!

各部会では、その他にも様々な活動をしました!

まちなみと緑の創造部会

- * 磯の生き物ウォッチング
- * 田越川さかな観察会等

二酸化炭素削減部会

- * 環境教育市立小学校出前授業等

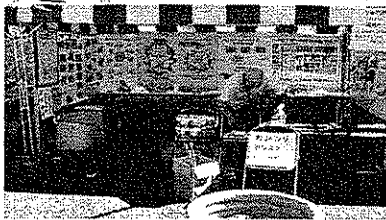
ごみ問題部会

- * 不法投棄ごみ撤去活動等



市民まつりにずしし環境会議(エコリーダーズ会議)も参加します!

昨年の出展状況



*日時: 10月22日(日)
10時~16時
◇場所: 第一運動公園
小雨決行
↑荒天により延期の場合
10月29日(日)

ずしし環境会議(エコリーダーズ会議)では会員を募集しています!!
活動は月1回の定例会、年1回の総会・交流会、6月の環境月間、市民まつりにおける展示などです。会員になって地球にやさしい活動を始めてみませんか。



エコファミリー...家族で生活にやさしい行動を宣言し地球に優しいエコライフにチャレンジしませんか。

現在119名のエコファミリーチャレンジの会員の方からの地球温暖化防止に取り組まれたアイデアを紹介します!

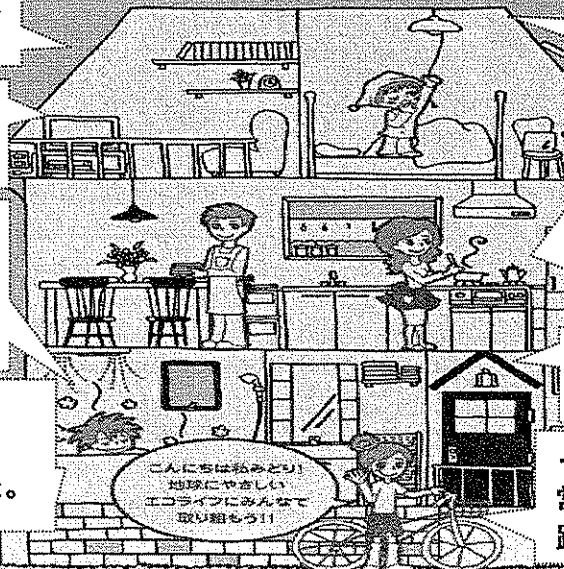
・冷房25度設定を28度設定に見直した。

・コンボやビデオには節電タップを使用。

・風呂の残り湯は洗濯か庭の水撒きに使用している。
・節水シャワーヘッドに換えた。

・ネットを利用すると色物を一緒に洗っても色がつかなくて一度に洗えるようになった。

みつめなおそう ぼくたちわたしたちのくらし



・白熱球から電球型蛍光灯ランプに交換。

・材料を1度に出し揃え冷蔵庫の開閉を少なくする。
・保温は止め、食べる前に暖める。(味も向上・電力半減)

・過剰包装を断る。
・マイバックに切り替え。

・車のタイヤの空気圧は、常時保つ。自転車で行ける距離は、車を使わない。



古紙配合率100%再生紙を使用しています

まちなみと緑の創造部会

当部会では、「逗子の自然環境を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。

田越川さかな調査

ずしし環境会議まちなみと緑の創造部会

<http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/kankyo/tagoegawa>

次回の『田越川さかな観察会』

～川が海に出会う河口の魚を観察しよう！～

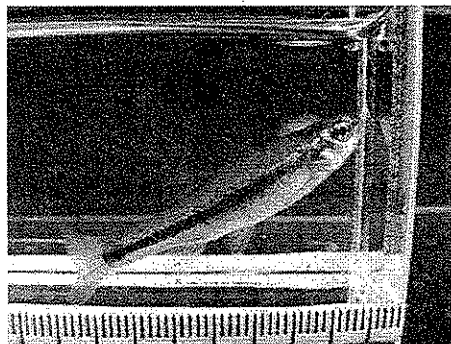
日時 2006年10月21日 10:00～12:00

集合 9:30 逗子市役所前

申込 逗子市環境管理課

私たち、まちなみと緑の創造部会では、逗子市の中心を流れる田越川に注目して、昨年10月より、“田越川さかな調査”と“田越川さかな観察会”を実施しています。06年8月末時点で、4回の調査と3回の観察会を行いました。

“田越川さかな調査”は、田越川の支流である池子川、久木川、その上流部に位置する溜池も調査対象とし、逗子市内の魚類について全面的な調査を行っています。例えば、溜池については、ブルーギル、ブラックバスを代表とする外来魚により、健全なため池の生物相を完全に失ってしまった場所もあれば、外来魚の侵入がなく、健全な溜池の姿が見られる場所があることがわかりました。田越川の本流には、海から中流域まで堤防がないため、海から遡上する魚類（主にヨシノボリの仲間）やモクズガニの量が豊富です。しかし、上流域においては、河川工事や宅地開発の影響が大きく、絶滅してしまったと思われる種類や、数が少なくなっていると思われる種類の魚がいます。



↑(左)魚を捕獲するために追い込んでいます。(中)アブラハヤ:田越川流域で少なくなっている魚です。(右)池子川と田越川が合流する地点での観察会の様子。

“田越川さかな観察会”には子どもから大人まで多くの方に楽しんでもらっています。いつも見ている川でも、川の中に降りてみるとまったく見てくるものが違います。まず、参加したみなさんが驚かれるのは、川の中の生き物の豊富さです。最初は気づかないのですが、目が慣れてくれば、川底でじっとしている姿や、岩陰に潜んでいる姿が見えてきます。また、魚の群れの中に何種類もの魚が含まれて、泳ぎ方や、餌のとり方が違うことなども見えてきます。今後も、多くの方に楽しんでもらいながら、田越川を知ってもらえる観察会を続けていきたいと思えます。



←モクズガニの豊富さは、田越川の特徴です。

<06年8月時点の田越川魚類リスト>

ウナギ科	ウナギ	ドジョウ科	ドジョウ	メダカ科	ヒメダカ
コイ科	コイ	アユ科	アユ	ハゼ科	スミウキゴリ
	ギンブナ	ボラ科	ボラ		ゴクラクハゼ
	オイカワ		セスジボラ		シマヨシノボリ
	アブラハヤ	サンブツシュ科	ブルーギル		ヌマチチブ
	モツゴ		オオクチバス		

ホームページではより詳しく活動やその結果を紹介しています。↓

<http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/kankyo/tagoegawa/index.html>

『川に学ぶ』助成対象事業になりました！！

平成18年度の田越川さかな調査と観察会は、(財)リバーフロント整備センターの運営する「川に学ぶ」活動助成の対象事業に選ばれました。観察会で利用している、夕モ網、箱めがね、観察ケースなどはこの助成金により準備しています。

また、この調査活動の成果として”(仮称)田越川さかな図鑑”を作成する準備をしています。ご期待下さい！！

ごみ問題部会

地球の有限性を考えず経済性を優先したつげが、今地球上に起こっています。

ごみ問題部会は、私たちの生活を見直し、出来ることからごみ問題に取り組んでいます。

今年の市民まつりは、昨年引き続きゴミ箱なし！！協力を！！

ごみ問題部会の部会長が市民まつりの実行委員に加わり、昨年よりごみ持ち帰りを実現しました。何万人ものイベントでゴミ箱なしが実現出来たのは画期的なことです。まつり終了時は、始まった時よりきれいでした。さすが、逗子市民です。今年もごみ箱なしごみ持ち帰りを行い、環境会議のメンバーも多数ボランティア監視員に参加します。市民の皆様も持参ゴミ袋、配布ゴミ袋での持ち帰りに協力を！！



昨年のボランティア監視員



市民まつりでの展示は

「ごみを燃やしたらどうなるの？」というテーマです。

今年のテーマは、「逗子と鎌倉のごみ処理広域化について」と「ごみ焼却の有害性について」です。また、ごみを出さない一つの生活体験を市民に実感してもらおうと、瓶入り飲料を提供し、瓶を返却すると瓶代が返るデポジットを行う他団体に協力していきたいと考えています。



引越しごみ?



こんなに集まりました

今年度の部会の重点テーマは、池子トンネル周辺の不法投棄ごみです。

部会員は4月と6月に撤去活動を行いました。秋には逗子中学校の総合学習(地域清掃)にも協力参加します。関心のある方はご参加を！

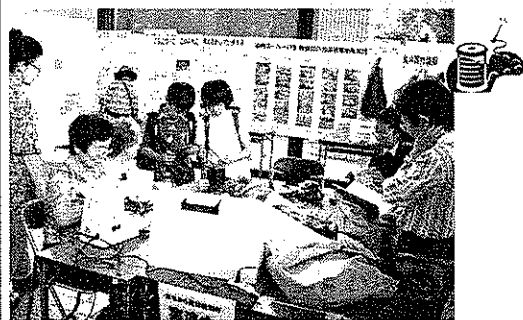


6月の環境会議展で

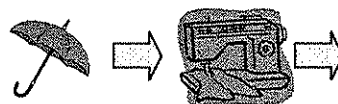
「手作りマイバック展」を行いました。

「レジ袋NO、マイバックを使おう」と環境省でも大キャンペーンをやっており、国民運動となりつつあります。前々からマイバックを使おうと呼びかけている私たちは、6月環境会議展でアイデアバックを募集、雨傘のリサイクルバック作りの実演を行い、見学者の関心を集めました。

(当初人気投票を行っていましたが、見本のバックや布ぞうりが見学の多数の小学生に好評でぜひ欲しいという声が多く、途中から希望の作品投票に変えてしまい、小学生5名市民1名に作品を差し上げました。それ以前に人気投票だけに参加くださった方には大変申し訳ないことをしました。心よりお詫び申し上げます。また、マイバック製作実演に毎年お力をお貸しくださる市民の山本静枝様には心よりお礼申し上げます。)



雨傘からマイバックを作っています。



二酸化炭素削減部会

家庭での電気、水道、ガスなどの使用量を抑えることによって家計へも良い結果をもたらすことでしょう。
まずご家庭で、「エコファミリーチャレンジ」に参加してみませんか！！

“環境教育出前授業報告”

7月5日(水)小坪小学校からの依頼により4年生 64名の児童を対象に太陽光発電システムと、地球温暖化防止のための省エネルギー教室を開催しました。

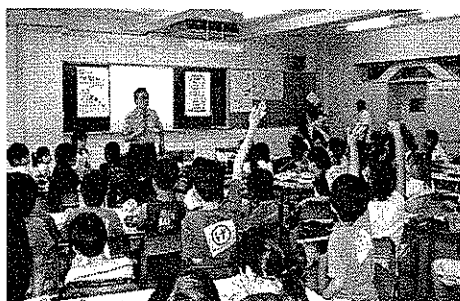


☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

屋上の太陽光発電設備を見ながら説明を行い、太陽光の恵みを改めて感じてもらいました。1階の表示パネルで刻々発電量が変化している様子を説明し理解してもらいました。



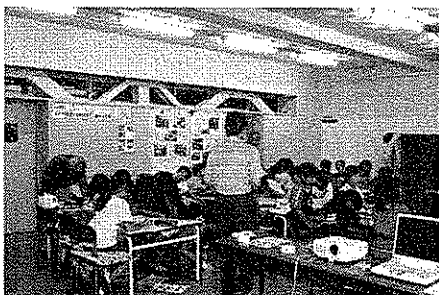
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



地球温暖化によって平均気温が上昇していく様子を世界地図の上で色分けして示しました、さらに例えば氷河の崩壊していく様子、海面上昇による海岸線の侵食によっておこる土地面積減少などがプロジェクターによって映し出され、子どもたちは驚嘆の声をあげていたのが印象的でした。

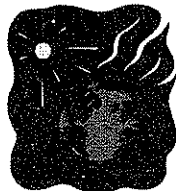
省エネルギー関連事項に関し、テーマ別8班に分かれて子どもたちに「カルタとり」を楽しんでもらいました。内容的に理解できず戸惑う子どももいたように思えました。





班毎に今までの先生のお話、授業の内容などを話し合いながら一人ひとりが省エネルギーカレンダーへ記入し、目標設定を行い、“今自分でできること”を書き出し整理しました。さらにその内容をノートに書き写していた子どもも何人かいたようです。

このずしし環境会議展には6月16日(金)に小坪小4年生、逗子小5年生合計100名の児童が来場し長島市長も大変喜んで子どもたちに話をしていました。



二酸化炭素削減部会会員からの感想

子どもたちが太陽光発電システム、二酸化炭素の削減などについて、授業で印象を受けた事を家庭でよく話しているようです。また一人ひとりの感想文についても学校から報告がありました。今回の学習がこれからの環境について考える礎となることを願います。更に今後、環境(地球温暖化防止)に興味を持ってくれれば望外の喜びです。